

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままなひ
とこと、ちょっと言いたいひとこ
とを、お待ちしております。

読者の伝言板



- 今回の震災を機に防災の意
識をよりいっそう高めた人が
多くなったと思います。被災
者の人たちが一刻も早く元の
生活に戻るよう願っている
一方、それにつけ込んで悪い
ことをする人がいることに心
が痛みます(脱豚ちゃん 58
歳・飯島)
- 広報あきた5月20号24ペー
ジの「家族で防災会議を開こ
う」がとても役に立ちました。
災害を防ぐためには日頃の備
えが大切だということがあら
ためて分かりました(カピバ
ラさん 17歳・泉)
- 2か月間にわたる研修が終
了しました。東北を支える社
会人になれるよう、一生懸命
がんばります(たつつんさん
22歳・広画)
- 秋田城の今年のボランティ
アガイドも始まって、はや2
か月。多くの人が見学に来て
くれることをお待ちしております。
先日、福島の南相馬市か
らの避難者家族がいらしてま
した。少しでも息抜きできた
でしょうか(秋田城の萩さん
67歳・将軍野)
- 水田がアツという間に青田
に変わりました。新緑も深ま
り、すがすがしい季節になり
ました。雄和の高尾山から眺
める雄物川は周囲の景色と相
まって雄大で素晴らしい眺め
です。一度、訪れてみてくだ
さい(ゆうわのバアーさん
71歳・雄和)
- やつと授かった第二子を妊
娠中…。窓から自分で育てた
芝桜やプランターの花を眺め
てリラックスを心がけていま
す(藤井美紀さん 42歳・桜
ガ丘)
- 子育てクーポンの申請が始
まるので早めに申請して活用
させていただきます。お天気
も良くなってきたので子ども
を公園に連れて行きたいです
(熊谷元子さん 44歳・広画)
- この間、2歳の娘に実家の
ジャガイモ植えを手伝っても
らいました。お花も植えました。
収穫が楽しみです。お花
もきれいに咲くといいなあ
(りりママさん 28歳・高陽)
- キタスカ(北部市民サービ
スセンター)にさっそく子ど
もと遊びに行ってきました。

地域の話 おしえて!!

老人クラブ秋田市北東会が創立25周年 心と心を結ぶ団結の一里塚に

土崎港北二丁目と東四丁目の一部の世帯が属する若松町町内会
にある老人クラブ「秋田市北東会」。70人の会員が、勉強会や公
園清掃、研修旅行など、一年を通して活発に活動しています。

5月15日、港北地区コミュニティセンターで、北東会の創立
25周年記念祝賀会が開催され、集まった会員たちは、元気な笑
顔で会の繁栄とお互いの健康を祝いました。会長の高橋一夫さん
が「会を結成して受け継いできた歴代の先輩会員へ感謝し、また、
25周年を一里塚として長く続けていきたい」と力強く話すよう
に、北東会はこれからも、会員の若さと元気の源としてあり続け
るでしょう。



会のあゆみをまとめた25周年記念誌を手に、高橋会
長(右)と編集長の
設楽健さん



かけがえない仲間たちです



おしゃべりかわらばん

6月1日、秋田中央塗装業組合と日本塗装工業会秋田県支部のみなさんが、大森山動物園の施設や路面を塗装してくれました。ありがとうございます。



森のこまち横路面



ふれあいランド施設



大森山動物園で塗装ボランティアをした田山順一さん(日本塗装工業会秋田県支部長)

人も動物も快適に

路面を緑色に塗装することで地面からの熱を和らげることができます。去年はトナカイ舎の周りを、今回は休憩スペースを塗装しました。これから暑くなるので人も動物も少しでも涼しく快適になればいいですね。

妙技会をめざして

竿燈を始めて3年目、向馬口労町竿燈会で竿燈を上げています。額が得意なので今年は腰が上手になりたいです。今年は妙技会に小若で出場して、いい演技ができるように練習をがんばりたいです。



竿燈小若・お囃子講習会に参加した柏原大和さん(勝平小6年)

どんどん利用します！

北部市民サービスセンターの子育て交流ひろばを初めて利用しました。広くて子どもの遊ぶ様子がよく見えるので安心です。今後はイベントに参加したり、他のお子さんやお母さんたちと交流したりしたいです。



子育て交流ひろばに遊びに来た佐藤旺介ちゃん(1歳)と美佳さん(土崎)

ツツジもフジも見事

天気が良いので健康のために歩いて来ました。千秋公園のツツジはよく手入れされていて感心しました。胡月池の周りにはツツジもフジも見事に咲いていてきれいですね。いい時期に見ることができてよかったです。



千秋公園つつじまつりを楽しんだ川邊敏夫さんと信子さん(広面)

雄物川をきれいに

雄物川一斉清掃に参加するのは2回目です。昨年ごみが多かったですが、今回もプラスチックごみなどが多く捨てられていて残念です。ごみは捨てないで、リサイクルなどをしっかりやってきれいな川にしたいですね。



雄物川一斉清掃に参加した渡部桃菜さん(飯島南小5年)と昌広さん(將軍野)

親子で楽しめるイベントや教室があったらもっと楽しめませんか(たかママさん 28歳・飯島)

●高齢者の健康診査などが6月から始まります。私も心配なので、ぜひ受けてみたいと思います。そして毎日健康でいたいです(竹内貞子さん 77歳・旭南)

●父に肺がん検診を受けてほしいです(赤田大輔さん 25歳・下浜)

●節電は急にはできない。今からいろいろ実行しよう。一番良いのは早寝早起きかな(tunusuzi 58さん 68歳・南通)

係からひとこと



「緑のカーテン」をご存じですか。建物の窓の外に植物を植えることで直射日光を遮り、室温の上昇を抑え冷房代の節約になります。植物はアサガオやゴーヤなど、つるが伸びるものが適しています。緑のカーテンは見た目にも涼しいうえ、野菜などは収穫して食べる楽しみもあります。これから暑くなる時期を迎えますが、今年は震災による電力不足のため、例年以上に節電が重要です。わが家でも節電のため、子どもはアサガオを植えて観察日記、大人はゴーヤを植えてゴーヤチャンプルにチャレンジします。(吉田)



「被災地の支援に」と市に寄附金

ドイツ・パッサウ市から温かい気持ちが届きました

5月17日、秋田市と姉妹都市提携をしているドイツ・パッサウ市から、東日本大震災の被災地支援に役立ててほしいと寄附金35,000ユーロ(約400万円)が市に届きました。寄附金はパッサウ市とパッサウ独日協会が共同でチャリティーコンサートを開催するなどして集められたものです。いただいた寄附金は、8月3日(水)~6日(土)に開催される竿燈まつりに被災地(宮古市、釜石市、多賀城市)のかたなどを招待する事業に活用します。



平成21年10月、姉妹都市提携25周年式典でパッサウ市のドゥッパー市長と